



日本臨床発達心理士会 九州・沖縄支部  
ニュースレター 第23号 (2020.3)

春色のにぎやかな季節、支部会員の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

COVID-19 感染対策から数々のイベントが延期や中止となっています。パンデミックの終息はいつか、どのように対応すると良いのか、見通せない状況に不安が募り毎日の生活に影を落としています。そのような中、当支部も次年度計画をどのように進めるか検討すべきところに来ています。皆様の安全と感染防止を優先して対応したいと考えておりますので、状況の推移を見ながら随時情報発信を行って参ります。今後の支部運営についてご理解、ご協力の程よろしく願いいたします。

さて、今号では、今年度の資格更新研修会の報告、次年度の活動計画についてお知らせいたします。現時点では5月9日(土)には支部総会を予定しますので、皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

## News 1 資格更新研修会の報告

### 1. 支部主催資格更新研修会

#### 貧困にある子どもの状況とその支援

日時：2019年5月11日(土) 14:00 ~ 17:00

会場：大博多ビル 1120 会議室 (福岡市博多区)

講師：小西 祐馬 氏 (長崎大学教育学部)

研修要旨：「子どもの貧困」が社会問題として注目されて久しい。さまざまな研究が蓄積され、各地でも調査が行われており状況が少しずつ見えてきている。講師による「子どもの貧困」の現状と課題についての講義から、問題解決と今後の支援について受講者と考えた。

取得ポイント：1ポイント 参加費 1,000円 研修参加者：42名

### 2. 共催資格更新研修会

(共催団体) 日本発達障害ネットワークかごしま

#### JDD ネットワークセミナー in かごしま 2019

(午前：基調講演) 発達支援のむこうとこちら

～つなぎあい ささえあい みとめあい～

(午後：シンポジウム) 教育と福祉の連携 ～霧島市の取り組みを通して～

日時：2019年8月4日(日) 10:00 ~ 16:00

会場：霧島市民会館 (鹿児島県霧島市)

講師：(基調講演) 田中 康雄 氏 (こころとそだちのクリニックむすびめ院長)

(シンポジウム) 座長：日高 浩二 氏 (鹿児島県言語聴覚士協会)

シンポジスト：田邊 貴仁 氏 (霧島市教育福祉連携地域協議会会長)、

鮎川 祐二 氏 (福祉連携校教諭)、村岡 伸祥 氏 (放課後等福祉連

携調整員)、白鳥 竜也 氏 (霧島市長寿・障害福祉課)、芝 隆志 氏

(霧島市教育委員会)

研修要旨：発達障害について理解を深め、より適切な支援を目指して当事者・親・支援者への学

びの場を提供し、セミナーを JDD 会員以外の方にも広く公開し周囲の理解を得るための啓発活動とした。午前は基調講演とし、児童精神科医師で長年家族支援・地域支援に携わってこられた田中康雄氏の講演とし、午後は鹿児島県霧島市がおこなった文部科学省モデル事業「放課後等福祉連携支援事業」の事業報告を受け、それぞれの地域でのよりよい支援システムの構築を目指した活動について議論した。

取得ポイント：1.5 ポイント 研修参加者：16 名（一般参加者：495 名）

(共催団体) 北九州市、社会福祉法人北九州市福祉事業団、北九州市発達障害者支援センター「つばさ」

## 自閉スペクトラム症の子どもたちの思春期を考える

(基調講演) 思春期の支援で大切にしたいこと

(シンポジウム) 思春期を支えるためには

日 時：2019 年 10 月 27 日 (日) 10:00 ～ 13:00

会 場：北九州学術研究都市会議場メインホール (北九州市若松区)

講 師：(基調講演) 奥平綾子@ハルヤンネ 氏 ((株)「おめめどう」代表取締役)

(シンポジウム) シンポジスト：伊野 憲治 氏 (北九州市自閉症協会)、河野 義恭 氏 (北九州市立総合療育センター小児科)、コメンテーター：奥平 綾子 氏、コーディネーター：安藤 卓雄 氏 (北九州市保健福祉局障害福祉部精神保健福祉課長・発達障害担当課長)

研修要旨：発達障害者支援法や障害者差別解消法の施行により地域での支援体制は整えられ、発達障害に関する知識や理解が広まってきた。しかし、その支援は未だ十分とは言えず、特に思春期においては心身が大きく変化し自我が確立していく中で、家族や支援者が子どもの状態の理解や対応に大変戸惑う時期でもある。適切な支援がなされないままに行動問題やうつなどの精神疾患を含む二次障害が現れることも少なくない。そこで、保護者でもあり、子育ての経験をもとに様々なコミュニケーションツール等を開発しサポート方法について発信している、(株)「おめめどう」代表の奥平綾子氏を講師として招き基調講演を行った。また、後半は「思春期を支えるためには」というテーマでシンポジウムを行った。

取得ポイント：1 ポイント 参加費：1,000 円 研修参加者：20 名（一般参加者：252 名）

(共催団体) 九州心理学会第 80 回大会シンポジウム

(教育講演 1) 発達障害への神経心理学的アプローチ

(シンポジウム) 障害のある子どものアセスメント

～支援の基礎としての子どもの実態把握

日 時：2019 年 11 月 16 日 (土) 13:30 ～ 16:30

会 場：熊本大学黒髪北キャンパス全学教育棟 (熊本市中央区)

講 師：(教育講演 1) 安村 明 氏 (熊本大学大学院人文社会学研究部)

(シンポジウム) 司会・指定討論：田中 信利 氏 (北九州市立大学文学部)

話題提供：実藤 和佳子 氏 (九州大学大学院人間環境学研究院)、徳永 豊 氏 (福岡大学人文学部)、干川 隆 氏 (熊本大学大学院教育学研究科)

研修要旨：障害のある子どもを早期に特定して早期に対応する必要性は、医療や教育、福祉などさまざまな領域で主張されている。障害のある子どもたちに対してエビデンスに基

づいた実践が求められているが、実際に実態把握を十分に行い、それに基づいた支援が行われているかは疑問である。本研修では発達心理学や特別支援教育の立場から話題提供し、その意義や可能性を検討した。

取得ポイント：1ポイント 参加費：1,000円 研修参加者：23名（一般参加者：120名）

### 3. 事例検討会

熊本地区事例検討会

#### 第1回熊本地区事例検討会

日時：2020年1月25日（土） 13:30～17:00

会場：熊本市国際交流会館（熊本市中央区）

講師：堀内 ゆかり 氏（九州産業大学人間科学部／九州・沖縄支部長）

山瀬 道代 氏（合志市立合志小学校／熊本地区研修委員）

研修要旨：WISC-IVを実施した読み書きに困難さがある事例について、児童生徒の実態把握、解釈の仕方、考えられる障害や病気の状態像を検討し、対象児への指導方法を協議した。

取得ポイント：1ポイント 参加費：2,000円 研修参加者：9名

佐賀地区事例検討会

#### 子どものトラウマとその治療の事例検討

日時：2020年2月1日（土） 13:00～17:00

会場：佐賀勤労者総合福祉センター（佐賀市）

講師：大元 誠 氏（佐賀大学）

服巻 智子 氏（心と発達の相談支援 another planet／佐賀地区研修委員）

研修要旨：公認心理師が国家資格として誕生し国民のこころの健康増進が強く叫ばれる時代となったが、一方で、子どもの虐待死事件も相次ぎ虐待してしまう加害親の心のケア及び子どもの負うトラウマへのケアにより関心が集まってきている。しかし、地震や津波等の天災、交通事故や死別・性被害などによっても引き起こされる子どものこころのトラウマへの認知度や関心はまだ高いとは言えない。

子どもの発達を支援する臨床発達心理士として、子どものトラウマの概論およびトラウマインフォームドケアの考え方を学び、また、事例を通して子どものトラウマ治療に効果が確認されているトラウマフォーカスト認知行動療法（TF-CBT）について学んだ。

取得ポイント：1ポイント 参加費：2,000円 研修参加者：20名

福岡地区事例検討会

#### 第2回福岡地区事例検討会

日時：2020年2月16日（日） 14:00～17:00

会場：西南学院大学5号館（福岡市早良区）

講師：堀内 ゆかり 氏（九州産業大学／九州・沖縄支部長）

中島 玲子 氏（北九州市立総合療育センター西部分所）

黒木 康代 氏（福岡市こども総合相談センター）

研修要旨：今回の事例検討会では、発達に課題を有する下記2事例について検討した。①学齢期の遺尿・夜尿の相談における発達支援実践、②成人期における情緒面の問題に対する生活支援（余暇支援、自己理解、自立支援等）の実践 について話題提供し、学齢期、成

人期における発達面の評価及び支援の方法について検討した。  
取得ポイント：1ポイント 参加費：2,000円 研修参加者：14名

## News 2 2020年度活動計画について

次年度は、重点目標を「支部内各地域での事例検討会の開催により会員個々のアセスメント力の向上と地域ネットワークの構築」と決めました。

以下に現在計画中の活動についてお知らせいたします。

### 1) 支部総会

#### ◎定期総会：

日 時：2020年5月9日（土）12：30 ～ 13：30

場 所：九州産業大学（福岡市東区）

審議事項：2019年度活動・決算報告、2020年度活動計画案・予算案、役員改選  
総会案内は郵送します。委任状を郵送もしくはFAXで返信をお願いします。

### 2) 資格更新研修会

#### ◎春季研修会①：支部主催

日 時：2020年5月9日（土）14：00 ～ 17：00

テーマ：自然災害から障がいのある子どもたちの命を守ろう  
～熊本地震の支援活動から学ぶ～

講 師：森 孝一 氏（福岡市立今津特別支援学校）

九州産業大学、講演形式、参加者80名程度、ポイント手数料1,000円、1ポイント

#### ◎春季研修会②：支部主催・・・企画準備中

日 時：2020年6月6日（土）

テーマ：田中ビネー知能検査

講 師：大川 一郎 氏（筑波大学）

九州産業大学、講演形式、参加者80名、ポイント手数料2,000円、2ポイント

#### ◎秋季研修会①：支部主催・・・企画準備中

日 時：2020年10月頃（調整中）

テーマ：地域での子育て支援

講 師：木村 一絵 氏（九州大学医学研究院）

九州産業大学、講演形式、参加者80名、ポイント手数料1,000円、1ポイント

#### ◎秋季研修会②：共催・・・企画準備中

共催先：第81回九州心理学会、学会公開シンポジウム、鹿児島大学

日 時：2020年11月28日、29日のいずれか調整中

参加者30名程度、ポイント手数料1,000円、1ポイント

#### ◎秋季研修③：共催・・・企画準備中

共催先：北九州市発達障害者支援センターつばさ、発達障害シンポジウム、北九州市

日 時：2020年10月もしくは11月で調整中

参加者30名程度、ポイント手数料1,000円、1ポイント

#### ◎秋季研修④：共催・・・企画準備中

共催先：JDD ネットかごしま・・・ 企画準備中

参加者 20 名程度、参加費は JDD ネットワークかごしまに納入、例年 1.5 ポイント

◎事例検討会：支部主催

福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島、宮崎地区で各地区 1～2 回開催、計 7 回程度

参加者 20 名程度まで、ポイント手数料 1,000 円、0.5～1 ポイント

### 3) 役員会

4 月：年度計画、運営の確認（役員・地域研修委員）

5 月：支部総会、春季研修の運営（役員・地域研修委員）

7 月：全国情勢確認、活動報告、年度計画、運営の確認（役員）

10 月：全国情勢確認、研修の運営、次年度研修計画（役員）

11 月：活動報告、年度計画、運営の確認（役員・地域研修委員）

2 月：全国情勢確認、活動報告、次年度活動計画、予算編成（役員）

開催地は、11 月は鹿児島大学・九州心理学会会場内。その他は福岡市

### 4) ニュースレター

SOLTI 登録の支部会員メールアドレスに、士会 HP へのニュース記事掲載を案内します。

これまでもお知らせしました通り、SOLTI 登録のメールアドレスや住所は会員の皆様ご自身で管理していただく必要があります。今後、重要な案内を受け取っていただくためにも今一度ご確認をお願いいたします。

支部の運営について、ご意見は

九州・沖縄支部事務局 >>> 北九州市立総合療育センター 尾首 雅亮 まで

e-mail : okb.src78@jcom.home.ne.jp